

B S T J

BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL



id.
DESIGN-OFFICE
アイディデザインオフィス
代表 鹿又 百合子
住所 北海道北見市南町1丁目8-29
TEL 0157-33-4081
facebook <https://www.facebook.com/id.DESIGNOFFICE>



NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ



「オーエンチャンネル」VOL.9が完成しました！

北海道で活躍されている創業者をご紹介する動画コンテンツ「オーエンチャンネル」のVol.9が完成しました！

今回は本誌にも掲載している「アイディデザインオフィス」の鹿又百合子さんの創業物語です。

本誌と併せて、オーエンチャンネルでも創業者をご紹介してまいりますので、ぜひご覧ください！



北海道信用保証協会 オーエンチャンネル

検索



北海道行政書士会様、 宮島学園北海道製菓専門学校様向けに 創業セミナーを開催しました！

北海道信用保証協会では、起業・創業に関する情報発信を目的として創業セミナーを開催しています。

北海道行政書士会様向けに平成29年9月28日、宮島学園北海道製菓専門学校様向けに平成29年10月14日、それぞれ創業セミナーを開催しました。

各セミナーでは、北海道信用保証協会の業務概要と事業計画作成に係るポイントを中心に講義を行い、参加者の皆さんには熱心にご参加いただきました。

引き続き、起業・創業に係る情報発信に取組んでいきます。



START-UP! STORY

id. DESIGN-OFFICE 「鹿又 百合子さんの創業物語」

子どものころから絵を描く仕事をしたかった鹿又さん。こうなりたいという未来予想図を、周りのみんなにも伝えることで念願の起業を果たされました。デザインは、グラフィックの域を超え、キャリアデザイン、ライフデザインまで拡がっています。地元北見をデザインのチカラで明るくわくわくする街にしたいと言う「アイディデザインオフィス」鹿又さんの創業物語。

鹿又 百合子さんの創業キーワード Start-up! Keyword

家族の理解

ひとつの創業には、 たくさんの物語がある。



START-UP! Question?

事業内容の紹介

id. DESIGN-OFFICE Data

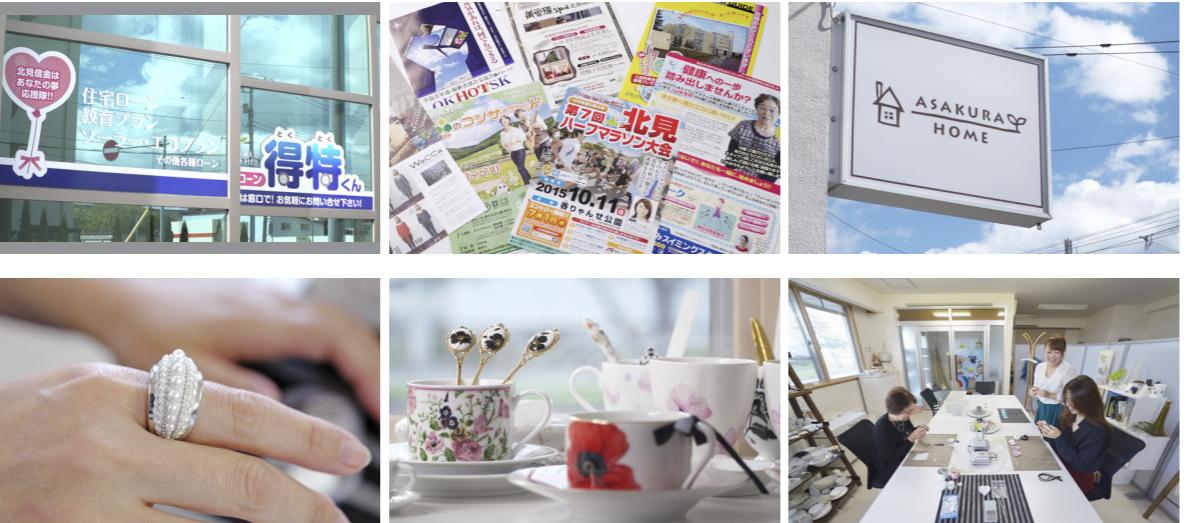
広告デザイナーから講師、起業支援まで、
デザインの力で生活を豊かにするのが仕事。

北見市の中心部に近いマンションの1階、ここに広告デザイナー・鹿又百合子さんの事務所『アイディデザインオフィス』はあります。広告物や印刷物のデザインを幅広く手がけるのが仕事です。単にデザインするだけではなく、看板のような大型広告物は印刷から取り付けまで自らこなし、また制作物を活かしたさまざまな企画の提案をするなど、その内容は多岐に渡ります。

活躍の場はこれだけに留まりません。「ハンドメイドの教室『オトナ女子

のお稽古サロン』を主宰しています。ここでは自らデザインする楽しさを感じていただきたいと思っています。もう1つは起業支援。人生をデザインするお手伝いをしています。

いずれも、デザインを軸にした仕事ばかり。「ひとの想いをカタチにする。それがデザインです。デザインの力で、お客様の生活、人生を豊かに編集する。それが私の仕事だと思っています」。



**結婚、出産、家庭との両立…。
その都度、スタイルを変えながら
キャリアを重ね、経験が次の種に。
デザインで次世代の夢を広げたい。**

北見市出身の鹿又さんは、幼い頃から絵が好きだったといいます。美術大学に進学した先輩たちから「世の中は誰かのデザインでできている」と教わり、将来はその道に進みたいと、漠然と夢見ていました。美術大学を卒業後、北見の印刷会社に就職。ここで仕事に必要な基礎を学んだといいます。

その後、結婚を機に退職。一時は専業主婦に徹していましたが、在宅でデザイナーの仕事を再開。2児の母となってから、29歳で広告代理店への再就職を果たします。

新設されたデザイン部門で実力を発揮し、パート社員から正社員、最終的には取締役にまで抜擢されました。会社を支える選択肢も頭を過ぎりましたが、「40歳での起業は以前からの目標。もっと深くデザインの仕事をしたいという気持ちが勝りました」。予定より早い37歳で独立の夢を叶えます。

ここまで順風満帆に見える鹿又さんですが、再就職してからは仕事と家庭の両立に悩み、家族や両親とぶつかることも少なくありませんでした。

Start-up! Keyword

家族の理解

※1: グレーデコ®とは
グレーという接着性のあるパテでスワロフスキーなどの素材を使用しアクセサリーなどを作り出すハンドクラフト。

※2: ポーセラーツとは
白磁器に好みの柄などを転写したり、絵の具で描いたものを焼き上げ、オリジナルのテーブルウェアなどを制作するハンドクラフト。

創業の動機や経緯について

デザインでもっと深くトータルに、
役立つ仕事をしていきたい。
そして、もっと街に自分の作品を。

印刷会社、広告代理店とキャリアを重ねてきた鹿又さんですが、「会社の枠にとらわれずデザインに関わりたい」と思うようになったといいます。「依頼通りに作って終わり…ではなく、『こんな使い方をすると、デザインが活きてきますよ』というアドバイスを含め、トータルでお客様の役に立ちたい。そして、自分のデザインが街にあふれるようになったら楽しいだろうなあと思うようになったのが、きっかけです」。



▲お客様と徹底的に話し合う。そこからデザインが生まれます。

創業時の苦労・悩み・解決方法について

創業資金の悩み・不安は、
誰もが通る道。
まずは金融機関を訪ねる勇気を。

融資を受けられるのか心配な一方で、「家族がいるのに、借金を抱える不安は大きかった」と振り返ります。「思い切って北見信金さんに相談を行ったのですが、その時の支店長さんが『借金は怖いものではない。洋服をカードで買うように、自分の夢や会社の未来を分割で買うことなんだよ』といってください、一歩踏み出す勇気をもらいました。その時、お金を借りるのに事業計画書が必要とは知らなくて…。自分の強み、資格、詳しい経歴をA4の紙3枚にまとめ用意していましたが、そこに資金繰りや返済計画を加えることで事業計画書になると教えてもらいました。いろいろなアドバイスに背中を押してもらいました」。



▲事務所には子供たちの写真。家族の理解と笑顔がお仕事のパワーに。

経営において心がけていること

人にも仕事にも感謝を。
自分にも相手にも
ウソをつかない正直さが鍵。

「独立する時に人のつながりを強く感じたので、やはり、常に感謝の気持ちを持つことが大事だと思います。そして、正直でいること。ウソをつかないこと。例え、やったことのない仕事でも、『初めてですが学ばせてください』と素直に伝えること。そこが自分自身、ステップアップしていくことだと思います」。



▲デザインする面白さを伝えるために、細かな作業も真剣そのもの。

START-UP! Advice!



10年先を見て動く

by 鹿又 百合子さん

10年先にどうなっていたいのか。漠然とでも目標を立てることで、今日、この1分1秒、何をしたらいいのかが明確になってくる。その積み重ねが10年先につながっていると思います。そして、その計画をいろんな人に話す。とにかく言って歩く。そうすることで自分自身の意識も強くなり、つながりがつながりを呼び、形になることを経験してきました。起業が1年先であっても10年先を見る。そこが大事だと思います。